

平成26年度第2回さぬき市史編さん委員会 会議要旨（要約）

- 1 日 時 平成26年12月5日（金曜日）午前9時30分～午前11時30分
- 2 場 所 さぬき市役所4階第2委員会室
- 3 出席者 【委員】7名
熊田正美、川崎登、鈴木珠美、大垣博信、津村一仁、松田朝由、川地卓三
【事務局】中川勝幸（総務部秘書広報課課長）、鶴身昌大（総務部秘書広報課主任主事）、田中豊彦（総務部秘書広報課主事）、津村一仁（委員兼総務部秘書広報課市史編さん委員会事務局長）
- 4 会議次第
 - (1) 報告 現在の資料集状況について
 - (2) 議題1 サンプル原稿・再校「終章合併－新生「さぬき市」に向けて」について
議題2 今後の編さんについて
 - (3) その他
- 5 配付資料
 - (1) 資料1 サンプル原稿
 - (2) 資料2 旧町概略年表
- 6 会議内容
 - (1) 事務局から、これまで委託業者へ提供した資料について報告があった。

(委員) 学校関係の資料収集はどうか。統廃合で閉校になった学校の資料が散逸されるおそれがある。今後閉校になる学校に書類等の所在を確認する必要があるのではないか。

(委員) 学校の沿革史は各学校で管理されているので、その保存について編さん委員会から教育委員会へ伝えてもらいたい。

(委員長) 終章の合併に関する部分は、5冊ごとに作るのか。同じようなものが5冊できるようになるのではと危惧している。

(事務局長) 重複する部分も多くある。しかし、町ごとの町史なので、そのような形になる。

(委員長) 日程が遅れているので、今後新しく見直した日程の作成をお願いしたい。また、合冊して簡略化する必要があると考える。

(委員) 全体としてコンパクトなものがいいと思っているが、当初の予定より中身が膨らんでいないか。同じことを書くのではなく、個性を出していくべきと考える。

(事務局長) 膨らんでいるので、今後省く作業を行う必要がある。

(委員) 表や写真も埋めてもらいたい。

- (事務局長) 議題3の旧町概略年表について説明。
- (委員長) このまま利用するのか。
- (事務局長) 骨組みとして、使用する資料だ。
- (委員) 納期的に、また見やすさからも一冊の合冊にした方がいいと思う。
- (委員) 補遺編として、1冊の方がいいと思う。作成の上で、資料の保存を進めてほしい。ビジュアル面をもう少し。分野ごとのデータを作成し、そのもとになる資料も保存してもらいたい。補遺を作成するだけでなく、資料を保存できるような体制もできればと思う。
- (委員) 1冊にしたら、各町の始まりの年度が異なるが、どのように対応するのか。重要事項の差込みについて、どうするか。うまく事業ごとの記述ができるか。
- (事務局長) 仮に合冊にするなら、刊行年の最も古い旧大川町史に合わせなければならぬか。
- (委員長) 1冊にするかについて、正式な議論をする場を設けてもらいたい。1冊に合冊にし、資料編を加えるか。ぎょうせいにも確認する必要がある。27年度で完成が間に合うと思うか。事務局はどうか。
- (課長) 資料集め次第だと思う。
- (委員) 本文は他にできていないのか。新しいスケジュールは聞いていないのか。
- (事務局長) 現段階では、既存資料で作業中のため、まだである。
- (委員長) 改めて、次回の会で合冊についての案を出したいと思う。